

ふるさと教育 取組事例

学校名	飯南町立頓原小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
6	総合的な 学習の時間 国語	飯南町のまちづくりを考えよう	学びのサポーター、特産物 伝統行事
ねらい	地域の良いところや改善点や課題に気づき、その解決に向けた方法について調べたり、まとめたりする学習を通して、ふるさとへの愛着を深めるとともに、自分が地域のためにできることを実践しようとする意欲を高める。		
<p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯南町の自然や産業などについて調べ学習課題を設定し、他の市町村の取組等を参考にしながら課題解決の方法を考えた。 ・飯南町の課題を解決するための取組について、提案・発信した。 <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>(1) 飯南町のことが分かる資料から、町の魅力や課題を見つける活動を設定する。 飯南町を紹介する図書資料等を学びのサポーターに紹介してもらったり、飯南町のHPを活用したりして調べ課題設定をする活動を通して、町の魅力や課題の現状を知ることができるようにした。</p> <p>(2) 自分たちの考えた課題解決の方法を様々な人に伝える場を設定する。 学習発表会や町内の小・中・高校生・行政の大人が集う「ふるさとシンポジウム」で、自分たちの描く未来の飯南町について思いを伝えることで、よりふるさとへの愛着と誇りを高めることができるようにした。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>(1) 飯南町の未来を考えることによって、学ぶ意欲の向上を目指す。 自分たちが理想とする10年後の飯南町を設定し、そこに向けて今やるべきことを考えることで、学ぶ意欲の向上につなげる。</p> <p>(2) 自分たちの提案を発信するために適切な方法を選択する。 「飯南町のよさを生かして課題を解決する」という視点で情報を整理し、伝える相手を意識しながら発表資料にまとめることができるようにする。</p> <p>(3) いろいろな資料を使って調べることで、ふるさとのよさや課題に気づくことができるようにする。 飯南町の自然や文化等についてのパンフレット、新聞記事、統計資料等使い、一人ひとりが調べることで、ふるさとのよさや課題について実感を伴った理解につなげる。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>(1) 調べ活動を通して、町には豊かな自然や歴史、特産物などの自慢がたくさんあることを再認識し、今ある魅力を大切にしていきたいという気持ち高めた。</p> <p>(2) 地域の人や町内の小・中・高校生・行政の大人から肯定的な評価をもらったことで、自分たちの提案に自信を持つとともに、地域の一員としての自覚を高めた。</p>			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

(学力育成の視点から)

- (1) 自分たちが理想とする10年後の飯南町を「若者に興味をもってもらえる町」「観光客を増やし、住みたいと思ってもらえる町」「地域の人が帰ってきやすい町」と設定することで、取組を具体的に考えることができ、見通しをもって意欲的に学習することができた。
- (2) 発表資料をまとめるときに、どうすれば分かり易く伝えることができるかを考え、写真・イラスト・図などを効果的に取り入れてまとめることができるようになった。
- (3) 自然の豊かさや歴史など多くの良さがある一方で、人口減少やそれに伴って起きる空き家の増加などの問題があることを知り、課題を解決するためには、町の良さを生かした人口増加に繋がるような取組が必要だと気づくことができた。

4 課題や今後の展望

- ・コロナの状況が落ち着けば、体験活動や「ひと」を通して学ぶ取組を積極的に取り入れていきたい。
- ・より深いふるさと学習に取り組むために、今年度の学習の成果と課題を次年度に引き継ぐことが大事である。



*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

ふるさと教育 取組事例

学校名	飯南町立〇〇学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
6	総合的な 学習の時間	〇〇の魅力を発信しよう	地域住民 〇〇の会 〇〇公民館
ねらい		まちのよさや特色について、必要な情報を収集・整理・まとめることを通して、地域の一員との自覚をもてるようにする。	
<p>1 取組の概要 ※文でも箇条書きでも構いません。(以下4まで)</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ・自分たちの見つけた「ふるさとのよさ」を様々な人に伝える場を設定する。 公民館を会場に発表会を開催することで、多くの地域住民に聞いてもらえるようにした。またその際に、地域の方と子どもたちが話す場面を設定し、よりふるさとへの愛着と誇りを高めることができるようにした。</p> <p>(学力育成の視点から) ※記入例は「<u>学びに向かう力・人間性</u>」「<u>思考力・判断力・表現力</u>」「<u>知識・技能</u>」の3つの観点で記述しています。複数の観点でも一つの観点到絞っての記入でも構いません。</p> <p>(1) 魅力ある直接体験の場を作ることで、学ぶ意欲の向上を目指す。 地元の伝統文化を体験し、その伝統文化を大切に思う地域住民と会話をすることで、もっと知りたいという思いを高め、学ぶ意欲の向上につなげる。</p> <p>(2) 地域住民と語り合う場を設け、子どもたちの表現力の向上を目指す。 自分が見つけた「ふるさとのよさ」について、地域住民と対話を繰り返すことを通して、自分の思いや考えを分かりやすく伝えることができるようにする。</p> <p>(3) 「ふるさとのよさ」を発信するために適切な方法を選択する。 自分たちが調べたことを、「ふるさとのよさ」という視点で見つめ直し情報を整理し、伝える相手を意識しながら発表資料にまとめることができるようにする。</p> <p>(4) 地域で活動する人々に着目することで、ふるさとのよさに気づくことができるようにする。 人々の思いや工夫・努力に着目させることで、「ふるさとのよさ」への理解を深める。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) (学力育成の視点から) ※2で記載されたことについて、児童・生徒の変容をお書きください。</p> <p>4 課題や今後の展望 ※報告いただいた事例や自校のふるさと教育の取組についての課題や今後の展望をお書きください。</p>			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)